

こぎ出せ 感謝伝える夢舞台へ

パラローイング 八尾陽夏 (22) 戸田中央総合病院ローイングクラブ

挑む! 埼玉から TOKYO 2020

8

「縮」という後遺症。右手は一度力を入れると、自分の意思で力を抜けない。利き手も左に変えた。

八尾陽夏(22)は戸田中央総合病院ローイングクラブは元々パラ陸上の短距離選手。高1の時、走り幅跳びで日本記録も出した。

だが東京パラリンピックに出るには記録が足りない。「どうしたらいいか」。大学1年の秋に参加した選手発掘イベントでパラローイングと出会った。

「ユーチューブを見まくっ

た。カッコいいな」。週末、1964年の五輪会場でもある戸田市の戸田ボートコースに通うようになった。「エルゴ」と呼ばれるローイングマシンも夢中でひきまくった。かじつき混合フォア(PPR3)は視覚、肢体に障害がある男女4人で艇を進める。東京への世界最終予選は5月。その前の1、2月には厳しい国内選抜が迫る。

「どうすればできるようになるか」。常に前を向き、周りも支えてくれた。

全失語で言えなくなった、あいうえおの練習にとことん付き合ってくれた小学校の先生。右手でスタンプを押すリハビリで、病院の先生は「ポケモン」のキャラクターを日替わりで彫ってくれた。

中学陸上部の練習についていけず、現実を突きつけられた時、3人の親友が「ホルンなら左手でできそうだよ」と言って、一緒に吹奏楽部に入ってくれた。両親はいつも笑顔で見守ってくれた。

夢舞台でみんなに感謝を伝えたい。そんな思いでいまオールを握り、挑む。

敬称略(加藤真太郎)



昨年10月のアジア選手権に出漕した八尾(左から2人目)は韓国・チュンジュ、日本ボート協会提供



リハビリで愛用したスタンプを懐かしむ八尾はふじみ野市の自宅

やお・はるか 1997年、和歌山県生まれ。小4の途中でふじみ野市に転入。中2から筑波大付属桐が丘特別支援学校中学部(東京都板橋区)に転校し、陸上競技を始める。走り幅跳びT37クラス(片まひで歩行または走行が可能な立位競技者)の日本記録保持者(3歳51)。大東文化大2年でパラローイングに転向。昨年8月の世界選手権に出場。スポーツ・健康科学部4年。

埼玉

埼玉

首都圏

さいたま総局
〒330-8557 さいたま市
浦和区常盤4-12-13
☎ 048-832-7311
fax 048-824-7952
mail saitama@asahi.com

東埼玉支局
〒343-0845
越谷市南越谷4-11-1
☎ 048-985-3311
fax 048-985-3150

西埼玉支局
☎ 049-248-4800

北埼玉支局
☎ 048-521-0011

川口 ☎ 048-256-3435
所沢 ☎ 04-2922-2347
久喜 ☎ 0480-24-1230
秩父 ☎ 0494-22-0608